

激動の幕末・明治維新史料

第1回 講義 ペリー来航と日米和親条約 (中村武生 先生)

この写真は北部写楽会の万博記念公園の4月のさくら

2022年4月12日

特別講座激動の幕末・明治維新史料の第一回講義が4月12日(火)開催されました。入口でマスク着用確認・検温・手消毒を受け班別に名前を言われた。10時5分前からONCCの教務部の高橋さんから自己紹介のあと『佐藤 CA・中野 CAと教室をとってもらおう北原さん』の紹介を受けました。佐藤 CAから先生の紹介では3分の2を担当されるそうです。10時から先生の自己紹介を受け、下記の通りレジメとパワーポイントで講義を頂いた。ペリー来航から明治元年まで16年です。1850年代から50年前の話から順次追って説明を受けました。幕府・朝廷は同時代用語として公儀・禁裏として使われています。先生のお話は久しぶりに聞きましたが楽しくなりました。これからの講義楽しみにしています。

<レジメ>

- 徳川時代は「鎖国」の時代か
- 西洋の接近—19世紀史の視点
- ロシアとの交渉・衝突、禁裏に初の外交報告
- 異国船への砲撃命令
- アヘン戦争の報を受けて
- ビッドルが浦賀来航
- ペリー・ブチャーチン来航、和親条約締結



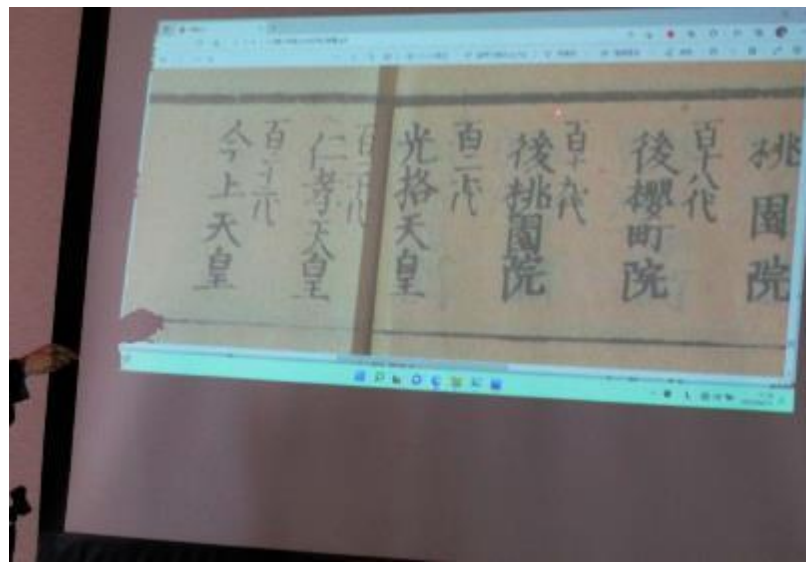
はじめに中村先生の自己紹介(オープニング)



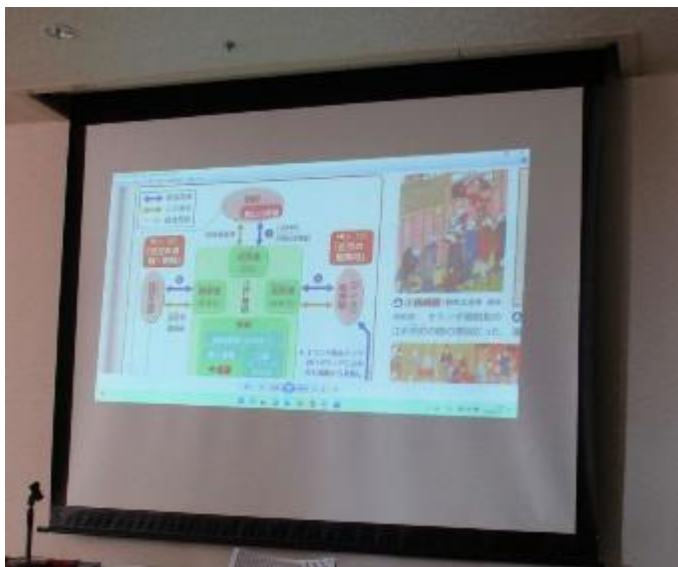
『ロシアの外交が60年に及んだ』の説明



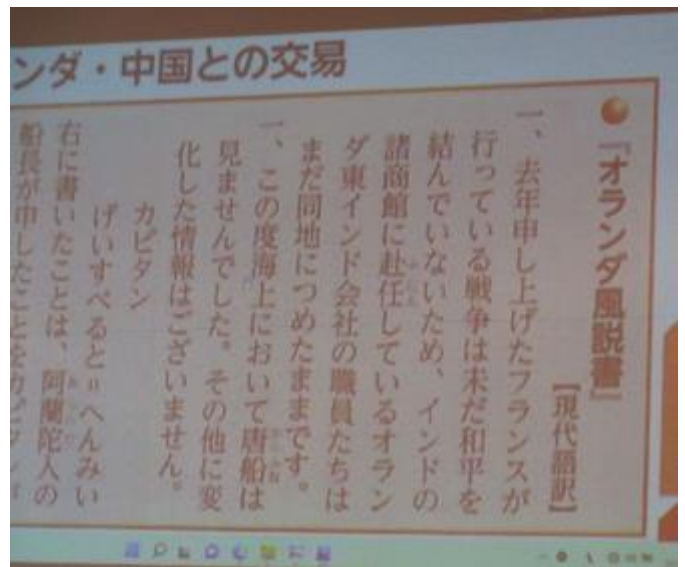
雲上明覧の説明



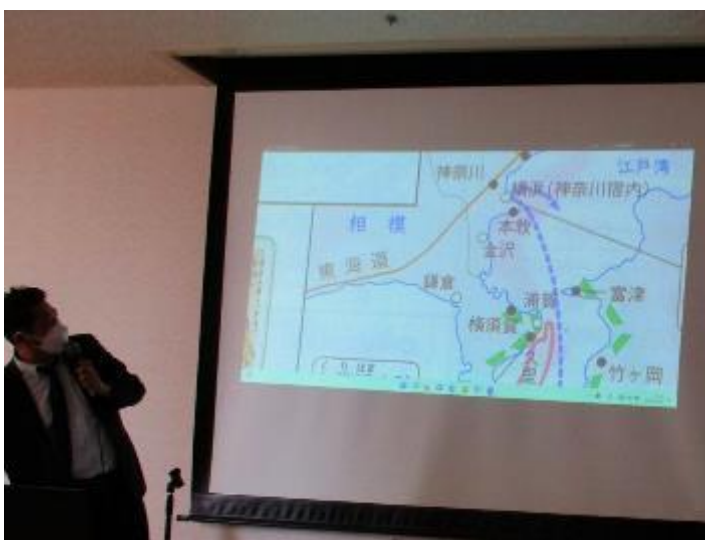
光格天皇を使って院と天皇の違いの説明



5つの外国・異民族と4つの窓口の説明



オランダ風説書の説明



ビッドルが浦賀に来航と
その後のペリー来航説明



日米和親条約と日米修好通商条約の違いは
次回のお楽しみに